

## 流域治水プロジェクトの拡充について

# 流域治水プロジェクトの拡充について

# 「流域治水」の施策のイメージ

- 気候変動の影響や社会状況の変化などを踏まえ、河川の流域のあらゆる関係者が協働して流域全体で行う治水対策、「流域治水」へ転換。
- 治水計画を「気候変動による降雨量の増加などを考慮したもの」に見直し、集水域と河川区域のみならず、氾濫域も含めて一つの流域として捉え、地域の特性に応じ、①氾濫をできるだけ防ぐ、減らす対策、②被害対象を減少させるための対策、③被害の軽減、早期復旧・復興のための対策をハード・ソフト一体で多層的に進める。

## ①氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

### 雨水貯留機能の拡大

集水域

[国・市・企業、住民]

雨水貯留浸透施設の整備、  
ため池等の治水利用

### 流水の貯留

河川区域

[国・県・市・利水者]

治水ダムの建設・再生、  
利水ダム等において貯留水を  
事前に放流し洪水調節に活用

[国・県・市]

土地利用と一体となった遊水  
機能の向上

### 持続可能な河道の流下能力の維持・向上

[国・県・市]

河床掘削、引堤、砂防堰堤、  
雨水排水施設等の整備

### 氾濫水を減らす

[国・県]

「粘り強い堤防」を目指した  
堤防強化等

## ②被害対象を減少させるための対策

### リスクの低いエリアへ誘導／

住まい方の工夫

[国・市・企業、住民]

土地利用規制、誘導、移転促進、  
不動産取引時の水害リスク情報提供、  
金融による誘導の検討

氾濫域

### 浸水範囲を減らす

[国・県・市]

二線堤の整備、  
自然堤防の保全



参考1-1-2

## ③被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

### 土地のリスク情報の充実

氾濫域

[国・県]

水害リスク情報の空白地帯解消、  
多段型水害リスク情報を発信

### 避難体制を強化する

[国・県・市]

長期予測の技術開発、  
リアルタイム浸水・決壊把握

### 経済被害の最小化

[企業、住民]

工場や建築物の浸水対策、  
BCPの策定

### 住まい方の工夫

[企業、住民]

不動産取引時の水害リスク情報  
提供、金融商品を通じた浸水対  
策の促進

### 被災自治体の支援体制充実

[国・企業]

官民連携による TEC-FORCE の  
体制強化

### 氾濫水を早く排除する

[国・県・市等]

排水門等の整備、排水強化

## 構成員の拡充

- ✓ 河川の流域のあらゆる関係者が集まり流域治水を推進

### 【構成員の拡充】

- 国の機関
- 流域の各府県、市町村
- 民間企業、など

協議会立ち上げ時点から  
構成員を随時追加

## 各機関のプロジェクトの反映

- ✓ 構成機関の取り組みをプロジェクトに反映
- ✓ プロジェクトの拡充があれば、随時更新し、流域全体で安全度を向上

### 【流域治水プロジェクトの今後の取組方針】

- 協議会各構成員の計画の充実(フォローアップ)

各府県、市町村の計画拡充

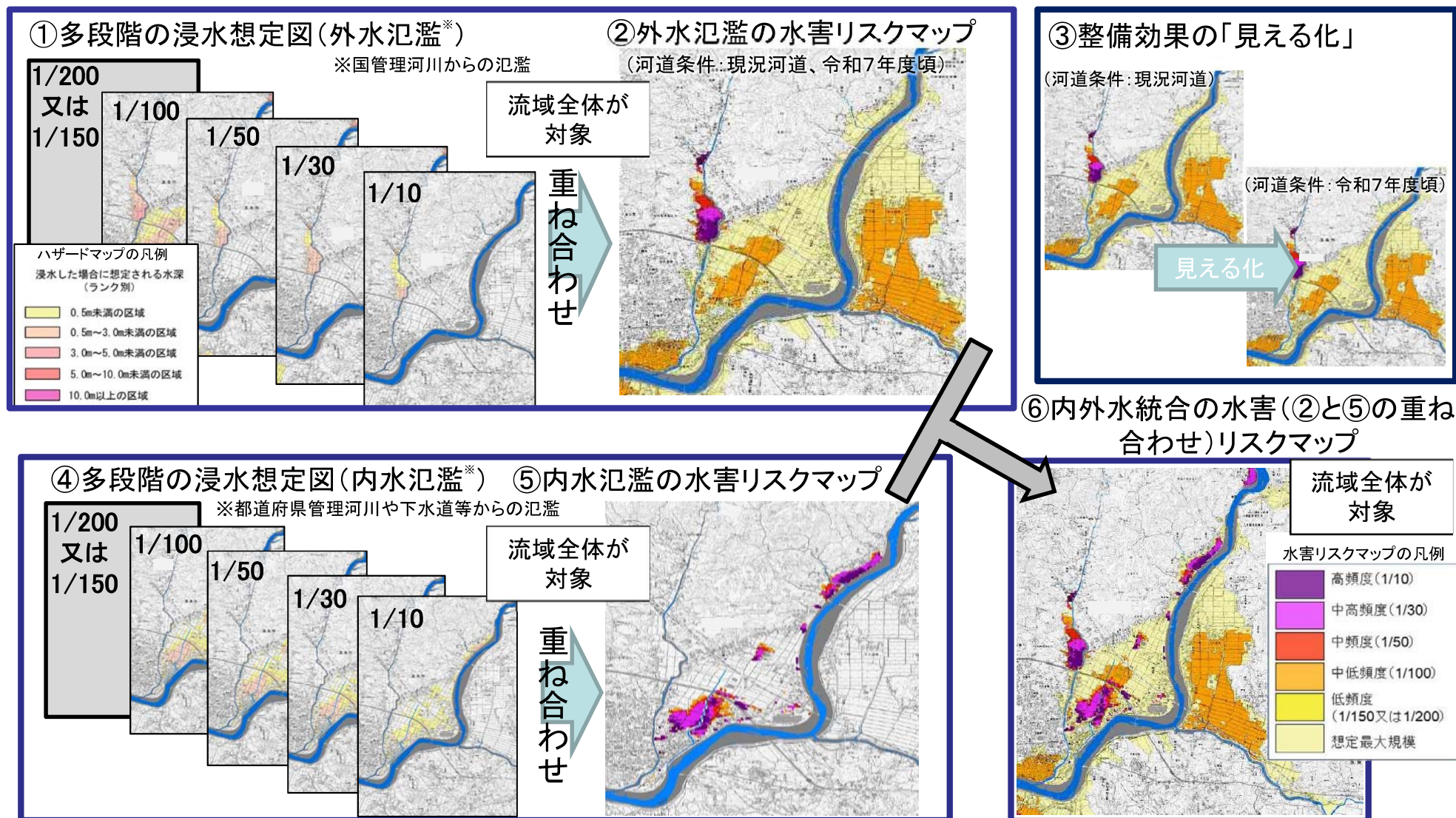
### 流域治水プロジェクトのさらなる充実

- グリーンインフラの取組
- 水害リスク情報の充実
- 取組状況の見える化

**流域治水プロジェクトのさらなる推進を流域全体で推進**

水害リスク情報の充実に向け、国管理区間において、先行的に水害リスク情報について検討中。

## 水害リスク情報の充実 整理イメージ



グリーンインフラとは、社会資本整備や土地利用等のハード・ソフト両面において、自然環境が有する多様な機能を活用し、持続可能で魅力ある国土・都市・地域づくりを進める取組

国土形成計画（平成27年8月閣議決定）

## ● 自然環境の保全・復元などの自然再生



## ● 生物の多様な生息・生育環境の創出による生態系ネットワークの形成



## ● 治水対策における多自然川づくり



## ● 健全な水循環系の回復



紀の川水系 内川

## ● 魅力ある水辺空間・賑わい創出



## ● 自然環境が有する多様な機能活用の取組



「流域治水」における主要な各取組に係る進捗状況を見える化し、協議会における取組状況をPR。

